

13. 老人福祉センターの指定管理

(1) 気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」

【概要】気仙沼市老人福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制の充実に努めました。

【事業実績】

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
館内	開館日数		21	18	22	21	20	20	23	19	20	19	18	24	245	
	集い・教室・講座(※)	回数			11	16	16	15	20	20	22	20	21	22	183	
		人数			139	197	162	173	317	228	262	211	269	289	2,247	
	福寿荘行事	回数					1							1	2	
		人数					31							34	65	
	奉仕活動	回数													0	
		人数													0	
	施設実習・見学	回数								6					7	13
		人数								39					13	52
	その他	回数				3	1	2	2	4	1	2	5	6	26	
		人数				41	5	12	11	86	26	30	75	82	368	
	計	回数	0	0	11	19	18	17	28	24	23	22	26	36	224	
		人数	0	0	139	238	198	185	367	314	288	241	344	418	2,732	
館外	移動福寿荘(※)	回数													0	
		人数													0	
	市老連関係	回数		1	2	2	1	1	3		1		1	1	13	
		人数		5	23	31	13	6	42		13		14	5	152	
	関係団体	回数	9	12		1	1	3	3	1					30	
		人数	48	66		9	7	35	82	15					262	
	計	回数	9	13	2	3	2	4	6	1	1	0	1	1	43	
		人数	48	71	23	40	20	41	124	15	13	0	14	5	414	
合計		回数	9	13	13	22	20	21	34	25	24	22	27	37	267	
		人数	48	71	162	278	218	226	491	329	301	241	358	423	3,146	
生きがいデイサービス(※再掲)		回数	0	0	11	16	16	15	20	20	22	20	21	22	183	
		人数	0	0	139	197	162	173	317	228	262	211	269	289	2,247	

【成果】新型コロナウイルス感染防止のため5月31日まで各集いが中止になりましたが、その後随時再開しました。未だ3集い（民謡・歌謡・健康麻雀）は休止ですが、各集い休止中は各集い講師と代表者に連絡し、代表者には連絡網を通じて各利用者への周知依頼と感染防止の声掛け等を依頼しました。また、介護予防のチラシや福寿荘だよりの送付など、繋がりの維持に努めました。福寿荘まつりに代わり作品展の実施や3月には一般市民向けの作品展と施設開放を行い、今年度をもって閉館となる施設に親しんでいただきました。コロナ禍の中、感染予防を徹底し「新しい様式」を踏まえ、工夫しながら生きがいのある学習活動を推進しました。

【課題】日常生活において「新しい生活様式」を定着させながら、様々な場面において注意喚起を徹底し、サービスを行うことが必要です。休止している3集い（歌謡・民謡・健康麻雀）については、講師・代表者と連携を深めながら進めて行く必要があります。多様化するニーズに応えられるよう活動や支援のあり方について工夫を図るとともに、高齢者が安心して利用できるよう必要な研修を受講し、職員の資質向上が今後必要です。

【今後の取組】学びの場・健康づくりの場として仲間づくりを支援し、地域の高齢者の健康保持や介護予防の推進に努めます。また、学生の実習生等を受け入れ、地域への関心や事業等に理解をいただけるよう交流を進めます。老人福祉センターは閉館となり、新しい事業に移行することで拠点等は変わりますが、利用者にとって、安全で居心地の良い環境となるよう、そして事業を円滑に引き継げるように努めます。さらには、コロナ禍で休止中の事業の再開を検討します。

【決算】事業活動収入	19,311,390円	事業活動支出	16,080,515円
		その他の活動支出	2,600,000円
		(運用基金へ繰出2,600,000円)	
		当期資金収支差額	630,875円

14. 市受託事業

(1) 気仙沼市「絆」再生事業

【概要】被災者と地域コミュニティとの繋がりを支援し、交流活動の実施や支援をするとともに、新たな住まいや地域等での孤立化の防止や見守り、関係機関への連絡、総合相談を実施しました。

【実績】

事業内容	区 分	件数等	備 考
交流事業 (仮設・地域)	交流イベント (他団体共催含む)	28 回/ヶ所	ラジオ体操等
訪問状況	戸数(延べ)	730 件	在宅者等
継続訪問世帯数 (見守り等)	仮設住宅	0 件	
	在宅等	172 件	
相談件数	住宅関係	0 件	
	介護関係	4 件	介護に関する相談
	生活環境関係	2 件	引っ越しに関する相談
	交流・社会参加関係	39 件	交流希望・孤立の問題
	交通等関係	0 件	
	精神的問題	0 件	
	隣人等関係	0 件	
	健康面	1 件	体調面の心配
	物資関係	0 件	
	軽微なお手伝い	0 件	
	児童関係	0 件	
	障害関係	0 件	
	経済面	1 件	経済的な問題
	傾聴	0 件	
	その他	56 件	上記以外の問題など
	合計	103 件	
連携事業	民協定例会出席	132 回	地区ごと月 1 回
	地区別支援者ミーティングや NPO/NGO 連絡会等	4 回	地区別支援者ミーティング NPO/NGO 連絡会等毎週開催
各団体との 連携調整	仮設住宅自治会長・連絡員等	0 回	原則全仮設訪問時に情報交換
	地域の自治会長や各種地域団体	1,909 件	随時連携(民生委員・地域ボランティア含む)・交流事業(イベント)の共催など
	行政・サポセン・LSA・復興協会・復興課・NPO/NGO 等との情報交換	随時	
研修会	内部研修	13 回	内部研修実施
	外部研修	11 回	外部研修会への参加

【成果】防災集団住宅や災害公営住宅及び既存自治会等の住民組織による催しに参加し、住民との交流を通して住民等から相談等を受け、必要に応じて関係機関や支援団体に繋がりました。また、震災前の居住区や新たな居住地へと住まいを変えた方々の地区において、交流会等の声掛けを通して住民や地区の状況を把握し、関係支援団体等と連携を図り住民が孤立しない住みよい地域づくりに向けて取り組みました。

【課題】新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら行われている既存自治会や防災集団移転団地・災害公営住宅等での地域交流会等への参加を通して、住民からの要望・相談等を受け必要に応じて、関係支援団体と情報の共有を図り支援を行いましたが、住民同士のコミュニティづくりには時間が要すると思われます。

【今後の取組】令和 2 年度で「絆」再生事業の終了に伴い、これからは地域福祉事業や生活支援体制整備事業に移行しながら、それぞれの地域で孤立せずに安心して暮らしていけるよう、関係機関・支援者団体と情報の共有を図ります。

【決算】事業活動収入 66,675,518円
その他の活動収入 12,420,840円

事業活動支出 76,544,726円
その他の活動支出 2,551,632円
当期資金収支差額 0円

(2) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため巡回訪問し、安否確認や見守り、声掛け総合相談等を実施しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数（延べ）	4 カ所	訪問した災害公営住宅団地数
	戸数（延べ）	2,001 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	547 件	訪問したが不在（状況確認）
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	2 カ所	訪問した防災集団移転先数
	戸数（延べ）	33 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	7 件	訪問したが不在（状況確認）
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	0 カ所	訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	0 件	訪問した戸数
	（内不在、延べ）	0 件	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	6 件	住宅等の問題
	健康相談	2 件	身体的健康の問題
	精神的問題	0 件	PTSDなど精神的問題
	介護関係	1 件	介護保険等相談
	家族関係	0 件	DVなど問題
	交通等	1 件	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	経済的な問題
	交流	0 件	孤立や交流等の問題
	傾聴	4 件	
	その他	4 件	上記以外の問題など
	合計	18 件	
お茶会等イベント活動	交流イベント（他団体共催含む）	62 3カ所	交流会等への援助活動
	参加者数（延べ）	776 人	
地域支援活動	自治会等	0 回/1カ所	地域行事への参加協力
	参加者数（延べ）	0 人	
広報公聴活動		601 部	高齢者相談室の活動、イベント等の周知
各種連絡調整会議	行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等	13 回	行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等との情報共有
職員研修状況	内部研修	0 回	社協内部研修会実施
	外部研修	6 回	外部研修会への参加

【成果】南郷住宅は南郷1区、2区との合同での自治会活動は新型コロナウイルスの感染拡大により中止が続きましたが、3月11日の南郷地区合同慰霊祭は感染対策を徹底しながら行われました。交流サロンに関しては中止になったサロンもありましたが、継続して行われたサロンもあり援助活動を適宜行いました。見守り・声掛けを含む訪問活動も計画的に取り組むことができました。訪問時にはマスクを着用し、インターホンでの対応を心掛けました。緊急時には、専門機関とも連携や情報共有を適切に行い、入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化やサロン中止に伴い、体調を崩す入居者が増えています。また、新型コロナウイルス感染拡大のため、巣ごもり生活が続く筋力低下により寝たきり状態になった方もおります。会えない方や健康面で心配のある方等との関わり方、精神面で心配のある方が地域から孤立しないよう、今後も専門機関や民生委員等と一層の連携が必要です。

【今後の取組】災害公営住宅からの退去、新たな入居に伴い、これまでと同様に専門機関や他の支援者と協力・連携し、入居及び自立再建された方の安心・安全な日常の確保に努めます。また、計画的な訪問と巡回、丁寧な相談業務の実施はもとより、隣近所が支え合う関係づくりを援助します。

【決算】事業活動収入 11,920,362円

事業活動支出 11,920,322円
当期資金収支差額 40円

(3) 気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター

【概要】唐桑地域及び鹿折地区の高齢者に関する、介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し解決に向けた支援を行いました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防総合	契約のみ	その他
4	94	73	29	126	2	15	46	13	27	95	5	25
5	90	46	39	135	9	12	54	21	34	55	9	26
6	86	52	33	138	14	15	71	9	28	57	5	24
7	84	72	25	98	19	1	30	21	21	78	3	22
8	87	45	33	95	9	6	44	23	27	45	4	15
9	95	65	32	115	7	17	45	8	33	49	4	49
10	98	57	44	139	34	6	50	11	20	79	6	32
11	79	44	25	123	18	3	75	10	32	36	5	12
12	83	41	28	98	15	14	27	11	25	41	0	33
1	80	45	26	81	15	9	33	11	12	48	2	22
2	77	37	29	86	13	0	47	29	10	34	1	20
3	102	56	41	128	5	15	77	37	22	42	4	25
合計	1055	633	384	1362	160	113	599	204	291	659	48	305
前年度	1086	696	364	1128	253	117	423	126	338	528	74	329

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年5月20日	唐桑地区福祉協力員研修会	燦さん館
6月11日	警察との情報交換会	気仙沼市役所
6月12日	地域ケア会議	市内事業所
6月22日	鹿折地区地域づくりミーティング	やすらぎ
6月25日	認知症初期集中支援チーム員会議	気仙沼市役所
7月1日	気仙沼地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
7月17日	みんなが主役の介護予防大作戦会議	やすらぎ
7月20日	唐桑地域多職種連絡会実行委員会	燦さん館
7月22日	感染症予防研修	本吉はまなすホール
8月21日	みんなが主役の介護予防大作戦会議	燦さん館
9月1日	認知症初期集中支援チーム員会議	気仙沼市役所
9月14日	鹿折地区地域づくりミーティング	やすらぎ
9月14日	鹿折地区地域づくりミーティング	やすらぎ
10月23日	鹿折地区市政懇談会	鹿折公民館
11月10日	気仙沼市地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
11月16日	唐桑地区市政懇談会	燦さん館
令和3年1月12日	権利擁護研修会	気仙沼保健所
2月1日	感染症予防研修	気仙沼市役所
3月22日	気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所

【成果】感染症予防対策を取りながら、相談や訪問での支援を行いました。高齢者虐待や支援の困難な事例については、関係者で「地域ケア会議」を開催して支援の方向性を検討しました。鹿折地区の課題と現状について、「鹿折地区地域づくりミーティング」で関係機関と情報を共有し、検討しました。

【課題】高齢者と何らかの障害を持つ世帯への支援が増えています。継続して「地域ケア会議」を開催し、関係機関で連携して支援できる体制を構築していく必要があります。また、感染症予防対策を取りながらも、地域づくりとして何ができるのかを検討する必要があります。

【今後の取組】令和3年度の重点的に取り組む業務として、①介護予防の推進、②権利擁護に関する連携の強化、③総合相談支援連携機能強化について取り組みます。さらに、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康、生活の安定のために必要な相談や援助を行います。

【決算】事業活動収入 30,205,930円
施設整備等による収入 138,600円

事業活動支出 27,444,085円
施設整備等による支出 138,600円
その他の活動による支出 1,372,116円
当期資金収支差額 1,389,729円

(4) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、相談に関わりました。新型コロナウイルス感染症予防をしながら訪問し、感染予防の注意喚起をしました。認知症や虐待相談から地域ケア会議を開催し、関係者間で連携しながら対応しました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防支援	契約のみ	その他
4	118	80	23	117	26	1	60	28	10	48	3	44
5	107	63	42	95	32	4	35	43	14	36	5	31
6	137	112	53	125	35	4	76	45	18	58	7	47
7	104	75	26	93	32	0	42	29	18	37	2	34
8	96	67	26	120	30	10	58	12	24	47	3	29
9	107	59	29	140	20	13	58	41	24	38	2	32
10	112	90	28	103	29	2	62	33	15	43	1	36
11	100	62	46	94	23	10	70	9	15	38	5	32
12	115	83	23	90	27	4	58	16	7	43	3	38
1	73	59	21	115	29	29	57	6	15	36	4	19
2	65	36	14	65	20	4	22	11	9	36	2	11
3	100	63	21	83	12	8	24	19	9	44	4	47
合計	1234	849	352	1240	315	89	622	292	178	504	41	400
前年度	1082	703	455	1222	271	121	672	286	127	490	52	361

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月9日	認知症地域支援推進員会議	ワンテン庁舎
6月11日	警察との情報交換会	市民福祉センターやすらぎ
6/23・7/31・8/6・8/26	自立支援の視点を意識した介護予防プラン作成に係る話し合い	ワンテン庁舎・いこい
6月30日	感染症予防管理者研修会	はまなすの館
7月1日	地域包括ケア推進協議会・ネットワーク事務局合同会議	ワンテン庁舎
7月7日	気仙沼管内介護保険施設サービス従事者向け感染症対策研修会	はまなすの館
8/20・21・22	みんなが主役の介護予防作戦会議	いこい・小公・大公
10/20・11/12・11/27	介護予防ケアマネジメント研修会	いこい・すこやか
12月11日	対応困難者情報交換会	いこい
令和3年1月12日	宮城県権利擁護推進研修	仙台弁護士会館（ズーム）
2月5日	新型コロナウイルスに関する研修会	やすらぎ
3月12日	認知症地域支援推進員活動報告会	ズーム研修
3月22日	介護保険運営委員会	ワンテン庁舎

【成果】認知症や虐待のケースの地域ケア会議を開催し、関係者での情報共有や地域での見守り体制を強化し、本人のできることを活かした生活ができるよう話し合いました。ケアマネジャーからの家族関係や介護力不足から、課題があるケースの相談へ対応しました。また、虐待で保護されたケースの今後の居住地の相談を市包括と連携しながら対応しました。

【課題】新型コロナウイルスの感染症の影響から、事業開催ができない状況にありました。認知症と虐待に関する相談が増えており、関係機関との連携を密にする必要があります。

【今後の取組】認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、地域や関係機関と連携しケア会議等で情報共有を図ります。コロナウイルス感染の状況を見ながら、回数は少なくとも事業に取り組むとともに、地域支え合い推進員と連携しながら地域との関係づくりを進めます。

【決算】事業活動収入	27,160,201円	事業活動支出	24,544,118円
施設整備等収入	138,600円	施設整備等支出	138,600円
		その他の活動による支出	1,378,116円
		当期資金収支差額	1,237,967円
		(市返還額1,447,540円含む)	

事業名	内 容
生活支援型食事サービス	【概要】 虚弱な高齢者の単身世帯等を対象に、生活を支える「食」の確保を図りながら安否確認と自立支援を行うとともに、利用者とその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的として、毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しました。 【実績】 気仙沼地域 利用者：22人 配食数：1,130食 唐桑地域 〃 ： 3人 〃 ： 250食 本吉地域 〃 ： 25人 〃 ： 811食 〃 計50人 〃 計2,191食 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。また、現在の状況と今後について、市担当課との話し合いを行いました。 【課題】 高齢者向け弁当配達を行う民間の業者が増えていることから、引き続き事業実施について整理・検討する必要があります。 【今後の取組】 引き続き、事業について内部で整理・検討を重ねるとともに、市担当課と継続的に話し合いの場を設けながら事業実施に努めます。 【決算】 3,213,226 円
生きがい活動支援通所事業 (元気老人デイサービス事業)	【概要】 おおむね65歳以上の高齢者を対象に、本吉保健福祉センター及び地域集会所等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 ： 216回 延利用者数 ： 2,373人 【成果】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催自粛期間の4月及び5月は利用者に対する電話による健康相談や困りごとの有無等の聞き取りや生活に必要な情報などのチラシを作成して届け、社会的孤立を防ぎ、生活不活発病やフレイル予防の支援に取り組みました。再開後は、新しい生活様式に基づくサービス提供を徹底し、利用者の心身状況に応じたリスク管理の確認を行いながらストレッチなどの体を動かす機会を増やし、より楽しく充実した時間が過ごせるような支援に取り組みました。 【課題】 不要不急の外出を控えることが求められた結果、体を動かす機会が減りフレイル化してきているので、専門的な健康や生活についての講話を積極的に取り入れ、勉強会などを多く組み合わせて支援していくことが必要です。 【今後の取組】 新たな仲間や地域の方々との交流を大切に、趣味活動や体操などの体を動かすプログラムを充実させ、生活不活発病やフレイル予防の支援に取り組み、充実した時間が提供できるよう支援に努めます。 【決算】 7,025,458 円

家族介護教室事業	【概要】 高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室の開催により要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。新型コロナウイルスの感染拡大により「感染症予防」をテーマに密集・密接を防ぐため、同じ内容にて2回実施しました。 【実績】 テーマ 「感染症予防について」 講師 気仙沼保健福祉事務所疾病対策班 保健師 10月13日 参加者数8名 11月13日 参加者数9名 【成果】 コロナ禍であることから参加者数は少なめでしたが、関心のある方々が参加され、手洗いなどの実践も行われたことで、感染症予防に関する知識を深める機会となりました。 【課題】 広報掲載やチラシを地域内の居宅介護支援事業所へ配布依頼などを行いましたが、参加者が少数となり、周知方法が課題となりました。 【今後の取組】 参加者に協力頂いたアンケート内容を基に、関心の高いテーマを取り上げ、参加者にとって有意義な教室となるよう努めるとともに、より多くの人に参加できるよう周知方法を検討します。 【決算額】 37,352 円
外出支援サービス事業	【概要】 リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 21人（実利用者3人） 延利用回数 42回（自宅から目的地までの片道を1回でカウント） 【成果】 リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 【課題】 気仙沼市からの委託事業ですが、市内での介護タクシーが普及している状況であることから、事業のあり方について今後も気仙沼市と協議する必要があります。 【今後の取組】 今後の事業運営について、委託者である気仙沼市と協議をしていますが、現行は引き続き効果的な事業となるよう取り組みます。車両の保管管理については、社協としての車両管理等について、市担当課とも連絡を密にし、法令遵守を徹底します。 【決算】 151,795 円
生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区担当職員（地域支え合い推進員）を配置し、支え合いの地域づくりに取り組みました。 【実績】 ・第1層協議体（地域包括ケア推進協コミュニティ・生活支援専門部会）出席

	・社協だよりによる、地域活動「お宝」の発信 ・地区住民懇談会 6 地区社協（再掲） ・地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業（再掲） 【指定】2年目 ・大谷地区社会福祉協議会 1年目 ・上地区社会福祉協議会 1年目 ・鹿折地区社会福祉協議会 ・生活支援体制整備事業パネル展（於ワンテンビル情報プラザ） ・「けせんぬま地域活動団体紹介 ～あづまっページ」作成・配布 ・フレイル予防とコロナ禍の中こそ地域のつながりの大切さを伝える周知チラシ作成・配布 7 地区社協、1 自治会配布・回覧（再掲） ・みんなが主役の介護予防作戦会議参加（地区社協圏域） ・生活支援体制整備事業報告書作成（平成 29 年度～令和 2 年度の 4 年間） ・地域支え合い推進員連絡会議（8 回うち 3 回は絆再生事業との合同） ・地域支え合い協力員・地域支え合い推進員合同連絡会議開催（1 回） ・生活支援体制整備事業は、本会が推進してきた小地域福祉活動の「支え合いの地域づくり」と目的が合致することから、地域福祉の推進と捉え、事業を推進しました。 【成果】モデル地区社協として 2 地区社協を新たに指定し、活動の充実と合わせ、取組みを発信することで他地区への波及に努めました。「みんなが主役の介護予防作戦会議」や「あづまっページ」作成配付等、市と連携して話し合う場の設定や情報提供を行いながら、コロナ禍でも次に繋がるよう働き掛けを継続しました。また、地域支え合い協力員は 3 人増え 15 人体制になりました。 【課題】コロナ禍の中、地域活動を控える団体等が多く、交流の場が減少しています。支え合いの機運が衰退しないよう、新しい生活様式を踏まえた地域活動の在り方や提案がより必要です。 【今後の取組】地域資源や課題の継続した把握とともに、コロナ禍での活動提案に努めます。また、感染予防対策を講じながら、全地区社協で地区住民懇談会が開催できるよう働き掛けを行います。 【決算】4,883,870 円
--	--

15. 団体事務

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。 【実績】監査会 1 回（6 月）、役員会 2 回（8 月、3 月） 總會（書面表決）、正副会長会議 1 回（5 月） 地区民児協会長会議 2 回（6 月、8 月） 【成果】新しい制度等の情報提供等を積極的に行ったほか、追加委嘱され

	た委員に対して委嘱状伝達式後に制度等の説明をするなど、活動がスムーズに取り組めるよう配慮しながら民協活動を支援しました。 【課題】 コロナ禍で訪問活動が思うように進められないケースや研修機会の減少による委員の質の確保に向けた取り組みや支援が必要です。 【今後の取組】 市民児協事務局として、単位民児協が円滑な運営を図れるように努めるとともに、委員個人が活動しやすい環境づくりに向けて、市担当部署等と連携しながら運営支援に取り組みます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	【概要】 本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。 【実績】 会議等の実績なし 【成果】 ブロック管内での相談支援の資質向上や諸制度理解に向けた研修機会の確保に向けて南三陸町民児協事務局と協議しましたが、コロナ禍により実施に至りませんでした。 【課題】 南三陸町民児協との広域的な社会課題の共有と課題解決に向けた情報共有の機会を確保することが必要です。 【今後の取組】 南三陸町民児協と連携の下、本吉ブロック管内における民生委員・児童委員活動の課題を共有しながら、必要に応じた研修機会等を実施していきます。
気仙沼市共同募金委員会	【概要】 共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。 【実績】 監査会 1 回（7 月）、運営委員会 2 回（8 月、3 月） 審査会 1 回（12 月） 【成果】 コロナ禍における街頭募金運動について、組織内での協議を重ね、感染対策等を講じながら、結果として地区社協を中心に理解と協力をいただき、県内では気仙沼市と仙台市だけが街頭募金運動実施となりました。また、宮城県共募助成事業の幅広い周知により、市内各地で助成金を活用した地域活動も独自に開催方法の工夫をしながら展開されました。 【課題】 コロナ禍において社会情勢に大きく影響されないよう、効果的な募金運動展開や安定した事業運営に向け、宮城県共募とより連携を強化した運営支援が必要です。 【今後の取組】 宮城県共募との連携を強化し、市民に対して共同募金の趣旨と協力の拡大を図るための広報活動について検討するとともに、引き続き配分方法についても深く研究しながら、市民の善意が効果的に配分活用されるよう、団体会務を支援します。
気仙沼市ボランティア連絡会	【概要】 市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、気仙沼地区と唐桑地区の計 12 地区ボランティアクラブから構成されています。 【実績】 総会（書面評決）、監査会（1 回）、役員会（4 回）、他団体会議への出席、他団体活動への参加協力、広報紙の発行等

	【成果】情報の共有や連携を図ることにより、活動の幅が広がり活動の質の向上に繋がっています。 【課題】新型コロナウイルスの影響により、研修会や新春懇話会の開催が中止となり、情報交換やネットワークづくりに支障をきたしています。 【今後の取組】感染症の拡大防止を考慮しつつ、地域のボランティア団体の円滑な連携や県内のボランティア団体との交流を図り、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。
気仙沼市老人クラブ連合会	【概要】老人クラブ活動の活性化を図り、市老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めました。 【実績】会議等（総会1回、定例理事会6回、監査会1回、専門部会4回、市高齢者事業運営委員会1回、研修会1回） 【成果】新型コロナウイルス感染拡大防止の感染対策が十分にできないことから、各事業は中止になりましたが、健康体力づくり部会では行事を実施しました。また、市へ活動場所の環境整備について要望した結果、快適に活動できるようになりました。更には補助金を活用し、用具を購入することができました。 【課題】高齢化や価値観の多様化により、組織運営についての検討が必要な状況です。会員の高齢化と後継者不足により、リーダーの役割を果たしてきた方が辞任していくことに伴い、脱会するクラブが出てくるおそれがあります。 【今後の取組】リーダー研修会を開催し、単位クラブや事業の在り方、リーダーとしての役割の再確認と見直しを行ないながら、事業の充実に努めます。また、「新しい生活様式」を取り入れた研修会開催や実践活動の推進に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の推進と活性化を図りました。 【実績】会議等（総会1回、監査会・役員会1回、単位クラブ会長会議4回、グランドゴルフ大会） 【成果】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定していた室内体育大会や芸能交歓会は中止としましたが、グランドゴルフ大会については、10月に開催することができました。また、各関係機関からの情報を得ながら、会長会議の際には感染予防のチラシの配付、集まりの場での注意喚起を行うとともに、各クラブの活動状況など情報交換の機会を設定しました。 【課題】新型コロナウイルス感染拡大防止から新しい生活様式の事業展開が必要になっています。また、これまで同様に会員の高齢化が進み事業への参加が難しいクラブもあります。今年度は、1クラブが解散となり、会員の加入促進が課題となっています。今後の事業運営の見直しと検討が必要です。 【今後の取組】単位クラブ会長会議等にて、クラブや事業の在り方について

	て検討を行い、新しい生活様式に合わせた事業運営に努めます。
本吉地区遺族会	【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携強調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえよう意識しながら事業を推進しました。 【実績】会議等（総会1回、監査会1回、役員会2回） 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、総会は書面にて対応。 本吉地域忠霊塔参拝（本吉地区戦没者追悼式代替事業） 10月17日 10:00～12:00 参加者 32名 【成果】役員が一丸となり会員減少に向けた取り組みを検討・対応しながら会の運営に努めました。また、コロナ禍での事業実施のあり方について検討を行いました。 【課題】会員減少に向けた取り組みや検討・対応をしておりますが、世代交代など年々先祖を敬う気持ちの希薄化が顕著にみられ、会員は年々減少傾向にあります。 【今後の取組】役員が中心となり様々な機会に会員の減少を防ぐ呼び掛けをはじめ、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和な世の中が今後も続くように会の取り組みを支援します。
気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会	【概要】本吉地域内の「連携・協働の場」プラットフォームとしての役割を發揮するため、本吉地域内の6法人が参加し、地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に資することを目的に運営を進めました。 【実績】会議等（連携会議8回、研修会2回） 福祉・介護映画「ケアニン～こころに咲く花～」上映 気仙沼市はまなすの館はまなすホール 12月4日 18:30～20:20 参加者数 124人 12月5日 10:00～11:50 参加者数 101人 14:00～15:50 参加者数 97人 職員スキルアップ研修会（2月18日） 「アンガーマネジメント研修」リモート開催 講師：ヴォイス&トーク 赤間 裕子氏 参加者数5法人17事業所約130人 【成果】介護・福祉の担い手育成としての映画上映会や介護・福祉に関わる職員のスキルアップ研修を実施し、本吉地域内の福祉向上に努めました。 【課題】コロナ禍が影響し、未実施となった事業もあり、計画どおりの事業展開ができませんでした。また、脱会や未参加の法人もあることから、呼び掛けを再度行いながら、プラットフォームの役割を地域全体で進めていく必要があります。 【今後の取組】本吉地域内の法人へ再度呼び掛けを行うとともに、事業のあり方等も連絡会議にて協議を重ね、効果的な事業実施により、本吉地域の福祉課題の解決と地域福祉推進に努めます。